

事業番号	15 06 01	事業改善シート(令和4年度実施事業分)		■当初要求 □当初予算案 □補正予算案 □点検	
事業名	「探究的な学び」推進事業費	部局	教育委員会事務局	課・室	学びの改革支援課
		実施期間	H30 ~	E-mail	kyogaku@pref.nagano.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)					
8つの重点目標					
総合的に展開する重点政策	1-1 生きる力と創造性を育む教育の推進	1-2 地域とともに取り組む楽しい学校づくり	2-6 郷学郷就の産業人材育成・確保		

1 現状と課題

目指す姿	・高校での学びを従来の知識を蓄えることを中心とした学びから、他者と協働した能動的な活動の過程で考察・理解を深めることを中心とする「探究的な学び」に転換していく。その学びの中で、生徒が「知識・技能」とともに「思考力・判断力・表現力等」や「学びに向かう力、人間性等」をバランスよく身に付けるようにする(1-1)。 ・生徒が「探究的な学び」を地域や世界の中で深めることで、自己の在り方や社会との関わりについて、地域に根ざしたグローバルな視野で考え、自ら構想したキャリアデザインを実現できるようにする(1-2,2-6)。	
これまでの取組	海外での探究的な学びを推進する信州つばさプロジェクトにおいて、令和元年度は県企画2コース29人、個人企画13人が留学したが、その後、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止 地域との協働による高校教育改革推進事業等に令和元年度3校、令和2年度1校が指定、4校が活動 参加型、探究学習型のイベントを開催:グローバルユースセミナー33人、信州サイエンスキャンプ376人参加 他	
令和3年度の点検結果・現状分析	課題 ・変化が激しく予測困難な時代に直面する中、「新たな社会や価値を創造する力」を育成するため、大学や企業等と連携した探究的な学び、多様な新たな学びを推進していく必要がある。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、海外への留学は実施困難であった。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、参加型イベント、フィールドワーク等、校外での活動に制約が出てしまった。	今後の方向性 ・ICTを活用して、個別最適な学び、共同的な学びを推進する他、先進的・先端的なカリキュラム開発に取り組むSSH(スーパーサイエンスハイスクール)、WWL(ワールド・ワイド・ラーニング コンソーシアム)、未来の学校等を中心として、「探究的な学び」を更に推進する。 ・オンラインで交流するなど、海外留学・海外研修の気運を持続可能な活動を実施していく。 ・オンラインでの取組を効果的に活用しながら、実施可能な方法で計画を推進していく。

2 令和4年度事業内容

予算のポイント・主な取組(予定)	1 すべての県立学校でICTを活用した授業を実現 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 知識の獲得 個別最適な学び(AI教材、Edtechによる自学自習と学び合い) 環境等に起因する教育格差の解消 </div> <div style="text-align: center;"> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 創造性を育む 協働的な学び、プロジェクト型学習 STEAM教育(教科横断的な教育) 生徒が学習をデザインする自律した学び </div> </div>
	2 学びの改革及び先進的な取組を展開 <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> 未来の学校 先進的、先端的な研究開発に取り組む 実践校を6校指定 <ul style="list-style-type: none"> ・スーパー探究校 野沢北 ・信州グローバルハイスクール 須坂 ・国際教育プログラム研究校 飯田風越 ・高度産業教育推進校 木曾青峰 ・少人数学級研究校 坂城 ・骨太リーダー育成校 松本深志 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> WWL(ワールド・ワイド・ラーニング コンソーシアム) インバーティブなグローバル人材を育成するため拠点校を中心に国内外の大学や企業、国際機関と協働し、高度な学びを提供する仕組みを構築 ALネットワーク校(拡大中)(アドバンスド・ラーニング・ネットワーク校) 拠点校 上田 共同実施校 松本県ヶ丘 連携校 須坂 長野 長野西 篠ノ井 屋代 上田染谷丘 野沢北 諏訪清陵 諏訪工業 伊那北 伊那弥生ヶ丘 飯田 松本深志 </div> </div>
	3 海外留学への気運を醸成し、ウィズ・afterコロナでの海外留学を促進 ・信州つばさプロジェクトにて、高校生の研修派遣を支援(オーストラリア、マレーシア) ・個人留学を支援
	4 参加型、探究型のイベントを開催し、探究的な学びを推進 ・高校生学びのフォーラム長野、信州サイエンスキャンプ、信州グローバルユースセミナー(小布施サマースクール)等
DX、ゼロカーボン、共生社会づくり、学びの県づくりに資する取組	【学びの県づくり】 「高校生学びのフォーラム長野」推進事業やグローバル人材育成事業等を通して、基礎的・基本的な知識・技能の活用と課題探究力、人間関係形成力等、これからの時代を生きるための資質・能力を身に付けた児童生徒を育てる。

指標の状況及び目標値 [△:改善、▽:悪化、→:変化なし、—:数値なし]								
No.	成果指標	単位	R1年度	推移	R2年度	推移	R3年度(見込)	R4年度目標値
1	グローバル・社会・ビジネス等の課題に係る大会・コンクールへの参加する県立高校生徒の割合	%	2.80	↗	3.02	→	3.02	2.00
2	海外への留学率(高校生)	%	0.33	↘	0.01	→	0.01	0.02
3	基礎学力に係る測定ツールにおいて全国の上位4分の1に入る県立高校生徒の割合(高2)	%	31.2	↗	33.0	↗	34.4	36.0
4	基礎学力に係る測定ツールにおいて全国の下位4分の1に入る県立高校生徒の割合(高2)	%	26.2	↗	25.9	↗	25.2	25.0

事業コスト	区分(単位:千円)	R2年度	R3年度	R4年度
	前年度繰越	0	0	
当初予算	473,618	444,047	要求 427,858 予算案	
補正予算	-8,639	6,509		
合計(A)	464,979	450,556	要求 427,858 予算案	
うち一般財源	329,836	334,444	要求 342,194 予算案	
決算額(B)	385,321			
職員数(人)	13.0	13.0	13.0	

設定理由	1. 文部科学省による国際交流状況調査に基づく数値であり、探究的な学びに係る大会・イベントへの参加者数を経年比較することが可能であるため。 2. 第3次長野県教育振興基本計画の中でも成果指標として掲げられており、生徒の主体的なグローバルな学びの状況を測ることができ、経年比較が可能であるため。 3.4. 「高校生のための学びの基礎診断」等に基づく数値であり、全国の状況と比較しながら基礎学力の定着度合いを測ることができ、経年比較が可能であるため。
目標値	1. 県立高等学校全生徒の2.0%を目標値と設定し、経年比較を行う。 2. 第3次長野県教育振興基本計画において、令和4年度までに1.4%以上と定めているが、コロナ禍における渡航控えを考慮し、令和3年度を上回る値を目標とする。 3. 過去の増減の平均値より、目標値を定めることとする(測定はR1年度より開始)。 4. 下位4分の1に含まれる生徒の割合が25%以下に収まるよう目標値を設定する。

事業番号	15 06 01	事業改善シート (令和4年度実施事業分)	■当初要求	□当初予算案	□補正予算案	□点検
事業名	「探究的な学び」推進事業費		部局	教育委員会事務局	課・室	学びの改革支援課

細事業 No.	細事業名	R2年度当初予算	R3年度当初予算	R4年度当初予算	
1	科学教育推進事業	27,346 千円	19,545 千円	要求 予算案 10,418 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)		
1	科学オリンピック養成講座	直接	ものづくり、イノベーションを支え、世界で活躍できる科学技術人材を育成するために、物理・化学・生物・地学・情報・数学の大学教員による実力養成講座を実施し、自然科学等を学ぶことの面白さを伝える。また、各種科学コンテスト参加者を増やし、勝ち抜いていくための実力を養成する。		
2	サイエンス・アソシエーション・プロジェクト	直接	ものづくりやそれにつながる基礎研究に対する生徒の興味喚起や視野拡大、また、国際性の涵養や卓越性の伸長を図り、世界で活躍できるグローバル人材を育成するため、県立高校が企画して実施する、大学・研究機関・企業と連携して行う科学技術に関する国内研修を募集し経費を助成する。		
3	信州サイエンスキャンプ	直接	理数系科目への興味・関心を高め、将来地元産業を支える科学技術系人材を育成するため、自然科学系部活動、理数科等の生徒同士の交流を通して、切磋琢磨できる場(信州サイエンステクノロジーコンテスト、課題研究合同研修会及び信州サイエンスミーティング)を開催する。		
4	スーパーサイエンスハイスクール指定校支援事業	直接	生徒の科学的能力を培い、将来、国際的に活躍する科学技術関係人材を育成するため、文部科学省のスーパーサイエンスハイスクール(SSH)事業の指定校に対する事業支援と指導を実施する。		
5	信州みらいクリエイターズ育成事業	直接	プログラミング教育に関して、プログラミング教育フェロー養成研修を実施し、他の教員を指導できる実力を持つ教員を育成する。		
		委託	信州のものづくりを支える人材養成を図るため、小中学生を対象に「信州Makers教室」「信州Makersキャンプ」の開催を民間事業者へ委託する。		

細事業 No.	細事業名	R2年度当初予算	R3年度当初予算	R4年度当初予算	
2	STEAMプラットフォーム推進事業	4,992 千円	5,225 千円	要求 予算案 3,108 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)		
1	信州グローバルユースセミナー	直接	文部科学省委託事業「地域における青少年の国際交流推進事業」により、長野県教育委員会、小布施町教育委員会及び一般社団法人HLABの3者による実行委員会を組織して、小布施町を会場にサマースクールを開催する。		

細事業 No.	細事業名	R2年度当初予算	R3年度当初予算	R4年度当初予算	
3	カリキュラム編成支援事業	98,581 千円	98,581 千円	要求 予算案 95,899 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)		
1	カリキュラム編成支援事業	直接	県立高校において、特色あるカリキュラムを編成し、キャリア形成につながる学びや「主体的・対話的で深い学び」を実現するため、非常勤講師又は学習支援員を配置する。		

事業名	「探究的な学び」推進事業費	部局	教育委員会事務局	課・室	学びの改革支援課
-----	---------------	----	----------	-----	----------

細事業 No.	細事業名	R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算
4	学力向上推進事業	16,896 千円	16,453 千円	要求 14,418 予算案 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)	
1	教育課程改善推進事業	直接	文部科学省主催の各教科担当指導主事連絡協議会等への参加による情報収集及び伝達を行う。	
2	高大接続改革対策支援事業	直接	高大接続改革や探究的な学びに向けた各校の取組・実践を推進するために、研究協議会、研修会等の実施と各校の取組に対する支援を行う。	

細事業 No.	細事業名	R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算
5	「高校生学びのフォーラム長野」と「信州学」推進事業	6,589 千円	9,864 千円	要求 9,773 予算案 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)	
1	「信州学」推進事業	直接	地域の中にある課題を発見、解決する能力の育成を図るとともに、信州に根差した確かなアイデンティティと世界に通じる広い視野を育成するために、地域に根差した探究的な学びの推進を支援する。	
2	「高校生学びのフォーラム」推進事業	委託	優れた指導者のファシリテートのもと、各校の探究的な学びの質を高めるために、学校の枠を超えて生徒が一同に会して学びの成果を発表し合い、互いに自らの今後の成長の方向性を確認する機会を提供する。	

細事業 No.	細事業名	R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算
6	キャリア教育推進事業	4,008 千円	4,008 千円	要求 4,008 予算案 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)	
1	キャリアデザイン力育成事業	直接	生涯にわたるキャリアデザイン力を育成し、発達段階に応じた社会的・職業的自立を図るために、就業体験活動等の経費を負担する。	
2	高等学校教科競技大会派遣事業	交付金	教科競技の振興を図ることで専門性を高めた学びを実現するため、専門高校の全国大会等への参加に係る経費を補助する。 交付先:高等学校教科競技大会に参加する団体	

事業番号	15 06 01	事業改善シート (令和4年度実施事業分)	<input checked="" type="checkbox"/> 当初要求 <input type="checkbox"/> 当初予算案 <input type="checkbox"/> 補正予算案 <input type="checkbox"/> 点検			
事業名	「探究的な学び」推進事業費		部局	教育委員会事務局	課・室	学びの改革支援課

細事業 No.	細事業名	R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算
7	グローバル人材育成事業	266,919 千円	256,903 千円	要求 251,700 予算案 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)
1	地域との協働による高校教育改革推進事業(WWL型)	直接	将来、社会を牽引し、世界で活躍できる資質・能力を有したイノベーティブなグローバル人材を育成することを目的として、上田高校をカリキュラム開発拠点校、松本県ヶ丘高校を共同実施校として連携校13校とともに大学や企業などの外部機関とも繋がりながら高度な学びのネットワークを構築する。
2	「海外での学び」推進事業	直接	高校生の留学気運の向上を図るため、有志高校生等が主体となって企画する留学促進プロジェクトとして、留学フェアの開催や、事業の広報活動等を行う。
		負担金	高校生の海外留学の「最初の一步」を支援するため、教育委員会と連携協定を結んでいる台湾をはじめ、米国、カンボジア、マレーシア等で、県が企画する短期留学プログラムを実施する。
		補助金	高校生の留学者数を倍増させるため、個人留学に対して、行先と期間に応じて経費の一部を補助する。 補助金交付先: 県内の高校生
3	留学キャラバン・高校生海外研修事業	直接	高校生の海外大学進学や留学を促進するため、留学支援員の配置、海外大学進学者による講演会や座談会及び海外大学進学者と直接語り合う講座等を実施する
		補助金	高校生の海外大学進学を促進させるため、国費による学校単位の留学支援を行う。 補助金交付先: 県内の高校生
4	信州英語教育ルネサンス事業	直接	英語4技能をバランスよく育成するため、小・中・高校の英語教員を対象にした研修及び中高校生を対象にしたスピーチコンテスト等を実施する。
5	外国語指導助手(ALT)配置事業	直接	高校生の豊かな英語コミュニケーション力と異文化理解のため、県立高校等へ外国語指導助手を配置する。
		委託	高校生の豊かな英語コミュニケーション力と異文化理解のため、県立高校等への外国語指導助手の配置を業務委託する。 委託先: 民間事業者

事業名	「探究的な学び」推進事業費	部局	教育委員会事務局	課・室	学びの改革支援課
-----	---------------	----	----------	-----	----------

細事業 No.	細事業名	R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算
8	学校芸術文化振興事業費	20,992 千円	20,496 千円	要求 32,200 予算案 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)
1	長野県高等学校文化・芸術フェスティバル	負担金	高校生の芸術文化活動の活性化を図るため、県・支部単位で開催される創作活動成果の発表会について、開催経費の一部を負担する。 交付先:県高等学校文化連盟
2	高等学校文化振興事業(大会生徒派遣事業)	交付金	高校生の文化活動の、より高いレベルでの成果発表を支援するため、全国大会、ブロック大会に出場する生徒の参加経費の一部を補助する。 交付先:県高等学校文化連盟
3	高等学校芸術文化鑑賞事業	直接	定時制・通信制の高校、小規模校が芸術文化鑑賞に触れる機会を確保するため、学校行事として行う芸術文化鑑賞に関する公演料と交通費の一部を助成する。
4	2018信州総祭を次世代につなぐ文化部活性化事業	負担金	2018信州総文祭開催を契機にレベルアップした文化部活動が継続的に発展するとともに、その成果を普及させるために、技術講習会等の実施経費を負担する。 負担先:県高等学校文化連盟の該当する専門部
5	ウィーン楽友協会との姉妹提携事業	直接	小諸高校音楽科生徒の中から世界レベルの音楽技術を習得した音楽家を輩出するため、ウィーン楽友協会との姉妹提携を生かし、一流の音楽家による実技指導等の機会を提供する。
6	県立学校部活動公式大会PCR検査等支援事業	委託	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、部活動の公式大会に参加する生徒・引率教職員について、PCR検査を実施する経費を負担する。

細事業 No.	細事業名	R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算
9	特色ある学校設置事業	5,564 千円	6,334 千円	要求 6,334 予算案 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)
1	未来の学校構築事業	直接	「高校改革 ～夢に挑戦する学び～ 実施方針」に基づき、先進的・先端的な研究開発を行うため、実践校6校を指定し、概ね5年間研究開発に取り組み、検証・評価を行いながら成果の普及を図る(R4年度は5年計画の3年目)。
2	未来の学校構築事業	負担金	国際バカロレアワークショップに教員2人を参加させ、厳格な「ガイドライン」の内容の実際の教育現場での実践方法を習得することにより、新教育課程の充実を図る。 負担先:国際バカロレア協会